

平成30年度苫小牧市統一学力検査の結果

1 検査の概要

(1) 実施日

平成30年4月17日(火)

(2) 調査対象

市内小学校第4学年

(3) 検査内容等

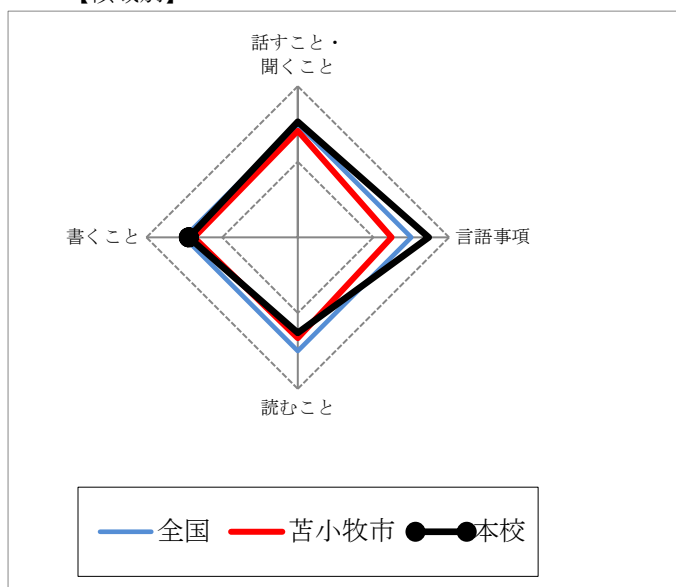
- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施(出題範囲は前学年の学習内容)
- ② 全国学力調査(集団準拠評価)を実施

2 本校の結果と考察

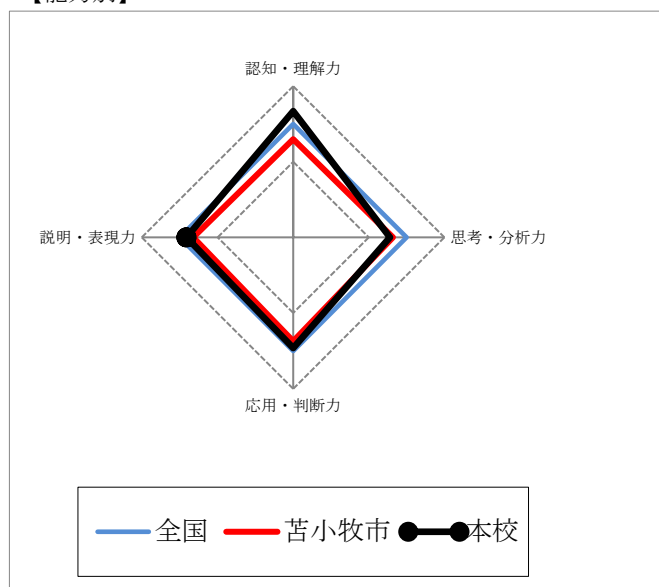
(1) 国語科

- ① 領域別(※1)及び能力別(※2)の偏差値SS(※3)における全国との比較

【領域別】



【能力別】

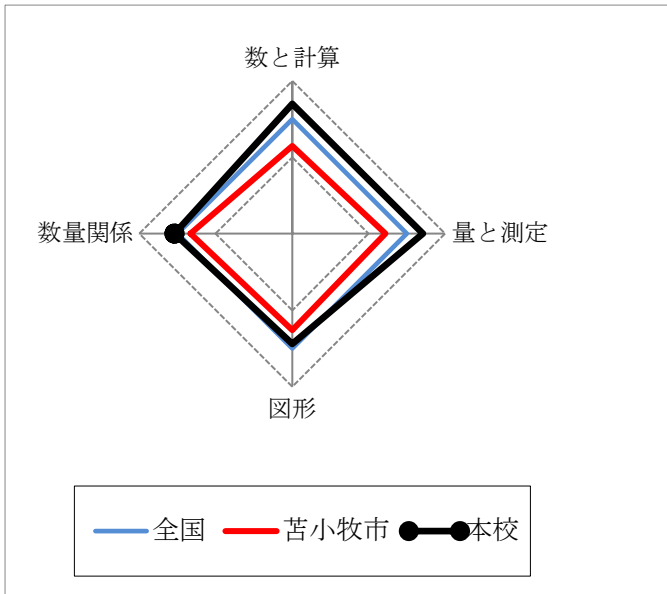


②考察

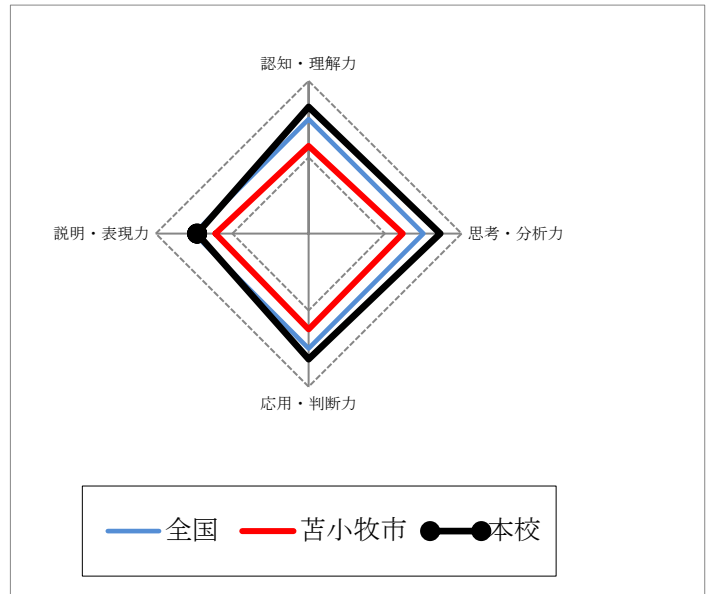
- 全体の偏差値平均は、全国値をわずかに下回りました。
- 領域別では、4領域の中で「読むこと」と「書くこと」が全国平均を下回りましたが、「言語事項」は上回りました。能力別では、「認知・理解力」のみ上回り、他の3つの観点はずか下回りました。
- 今後は、「読むこと」では物語以外にも興味を広げる読書を増やす指導を、「書くこと」では要旨を捉え自分で思考した文を書けるよう作文指導を工夫していきます。

(2) 算数科

① 領域別 (※1) 及び能力別 (※2) の偏差値 SS (※3) における全国との比較
【領域別】



【能力別】



② 考察

- 全体の偏差値平均は、全国値よりも高く、学習内容が身に付いている子が多い状況です。
- 領域別では、「図形」のみ全国平均と同程度でしたが、他の3領域は上回りました。能力別では、「説明・表現力」のみ全国平均と同程度でしたが、他の3つの観点の上回りました。
- 今後は、図形などの基本事項の確実な定着とともに、既習事項等を使い自ら考える指導を充実していきます。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと）に基づいた学力
【算数】学習指導要領が示す学習内容のまとまり（数と計算・量と測定・図形・数量関係）に基づいた学力

※2 目標準拠評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

- 認知理解力：児童がもっている知識（情報）量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力
- 思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力
- 応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力
- 説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいはわかりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体と比較し、どの程度の水準にあるかを示す数値